



NewsLetter

日本食物繊維研究会



No.11 Apr 2001

「日本食物繊維研究会」2期目の会長に就任して	1
日本食物繊維研究会第6回学術集会開催および演題募集のお知らせ	2
日本食物繊維研究会平成12年度総会記事	4
編集委員会より	8

「日本食物繊維研究会」2期目の会長に就任して

日本食物繊維研究会会長
タニタ体重科学研究所所長
池田 義雄

1989年（平成元年）、第6の栄養素として注目されつつあった食物繊維に関して、大塚製薬K.Kの肝いりにて桐山修八先生（当時北大、現在大妻女子大）を世話人（会長）とするクローズドの食物繊維研究会が発足した。その後この研究会活動の更なる活性化が求められた中で、平成8年の6月にオープンな研究会としての組織が整えられ「日本食物繊維研究会」がスタートし、現在にいたっている。

このような経過のもとで昨年の秋、会則に基づいて2期目の役員人事がなされ、不肖私が初代会長の印南敏先生の後を受けて2期目の会長の重責を果たすことになった。そしてさる3月22日、会の執行機関である常任幹事会が通算25回目集いとして開催された。これまでは副会長として印南会長を補佐する立場であったが、研究会の流れを更に飛躍させる上で会長はどうあるべきかを自問しつつ、優れた能力を有する常任幹事の先生方のお一人お一人の力と、全員の結束力に期待をかけ、ここに新会長としての船出の出来たことは喜ばしい限りであった。

常任幹事の役割分担については、池上幸江先生（大妻女子大学）に副会長と総務・広報の担当を、一般会員・会計管理担当は山田和彦先生（国立健康・栄養研究所）、財務担当は田所忠弘先生（東京農業大学）、研究会誌の編集は奥恒行先生（長崎県立シーボルト大学）、ニュースレター編集担当は青江誠一郎先生（雪印乳業K.K）にお願いすることが了承された。

このような体制のもとで本年度の総会・学術集会は海老原清先生（愛媛大学）のお世話で、10月に松山市で開催される運びとなっている。一方研究会独自の活動としては9月に産学協議会を開催するほか、3つのワーキンググループ（①定義用語②定量③プロジェクト研究）活動についても更なる発展が期待される所である。

以上のような会活動の中で保健機能食品の登場や、欧米におけるいわゆる機能性食品への取り組みについても大きな関心を払っていきたい。その上で我が国における食物繊維研究活動が国民栄養と「健康日本21」が進めている国民のための健康づくり運動に役立つことを念じたい。最後に会員お一人お一人の真摯な御支援、御協力をお願いするものである。

第 6 回 学術集会開催および演題募集のお知らせ

1. 第 6 回 学術集会開催のご案内

本年の日本食物繊維研究会第 6 回学術集会を愛媛大学・海老原清教授を学術集会会長とし、関係諸先生のお世話により下記の通りに開催します。会員多数のご参加と食物繊維をはじめとする難消化性糖類周辺の幅広い分野からの演題申込を期待します。

なお、詳細につきましては研究会誌第 5 巻 1 号にてお知らせいたします。

1) 日 時：平成 13 年 10 月 26 日（金）、27 日（土）

2) 場 所：愛媛大学農学部

〒790-8566 愛媛県松山市樽味 3-5-7

TEL&FAX：089-946-9847 E-mail：ebihara@agr.ehime-u.ac.jp

3) 講演および討論

発表はスライドプロジェクター 1 台を用いて行います。但し、ご希望により OHP も用意致します。

4) 学術集会受付

受付は開始 30 分前より行います。参加費・会場費（講演要旨集込み）として、正会員 3,000 円、学生会員 1,500 円、非会員 4,000 円を申し受けます。

5) 呼び出し、クローク、昼食、宿泊等の手配など

- 会場での呼び出しは行いません。また、クロークも設置しませんので、荷物等は各自で保管して下さい。
- 昼食は、キャンパス内の生協、生協喫茶、近傍に「司」ほか多数あります。（当日地図を準備予定）
- 宿泊、乗車券等は、各人にてご手配お願い申し上げます。

6) 学術集会会場への交通案内

松山空港：バス（奥道後または湯ノ山ニュータウン行き。途中松山市駅、大街道、道後温泉に止まります）で

松山市駅下車：⑧道後温泉行きに乗車、愛媛大学農学部前下車

道後温泉下車：⑧松山駅行きに乗車、愛媛大学農学部前下車

松山観光港：バス（道後温泉行き。途中松山市駅、大街道、道後温泉に止まります）で

松山市駅下車：⑧道後温泉行きに乗車、愛媛大学農学部前下車

道後温泉下車：⑧松山駅行きに乗車、愛媛大学農学部前下車

2.一般演題申込要領

1) 申込期限

平成13年8月25日(土)必着のこと

2) 申込先およびお問い合わせ先

日本食物繊維研究会第6回学術集会事務局

〒790-8566 愛媛県松山市樽味3-5-7

愛媛大学農学部栄養科学研究室

海老原 清 宛

TEL&FAX: 089-946-9847

E-mail: ebihara@agr.ehime-u.ac.jp

3) 講演要旨作成要領

- ①講演要旨原稿はオフセット印刷するのでワープロ(黒印字)でB5サイズ2頁(B4サイズで見開き1頁になる)に仕上げてください。
- ②図表を入れる場合は指定の枠内に納まるようにしてください。
- ③用紙は通常のプリント用紙を用いてください。
- ④発表者が複数の場合、講演者の左頭に○印を付けてください。
- ⑤所属は略称を用い、氏名の後に()で囲んでください。
- ⑥講演要旨原稿のオリジナルとコピー1部およびフロッピー(ソフト名記入)をお送りください。
- ⑦複数の講演要旨を同封する場合はその由を封書に朱書してください。
- ⑧折り曲げないようにして、「簡易書留」でご送付ください。
- ⑨講演要旨原稿受領通知用のはがき1枚(宛名を記入したもの)を同封して下さい。

4) その他

- ①発表者のうち1名以上は本研究会会員であることが必要です。
 - ②演題の採否、講演日時等はプログラム委員会にお任せください。
プログラムは学術集会前に届くよう発送の予定です。
-

日本食物繊維研究会平成12年度総会記事

平成12年度事業報告

1. 庶務関係報告

1) 会員の状況

平成12年11月13日現在の会員数は次のとおりである。

正会員：206，学生会員：4，名誉会員：6，団体会員：4，賛助会員：36

2) 役員

会長：印南 敏

副会長：池田義雄

常任幹事：青江誠一郎，池上幸江，池田義雄，印南敏，奥恒行，桐山修八，
笹山堅，真田宏夫，田所忠弘，森豊，山下亀次郎，山田和彦

幹事：青江誠一郎，池上幸江，池田義雄，印南敏，海老原清，奥恒行，
片山洋子，桐山修八，倉沢新一，斎藤洋子，真田宏夫，坂田隆，
菅野道廣，竹久文之，田所忠弘，土井邦紘，中村尚夫，原田悦守，
森豊，山下亀次郎，山田和彦，

中島玲子（大塚製薬株），

笹山堅（ダニスコカルター ジャパン株），

橋本正子（日本ケロログ株），若林茂（松谷化学工業株）

監事：綾野雄幸，森文平

3) 常任幹事会

第22回：6月2日（於：国立健康・栄養研究所）

第23回：9月25日（於：国立健康・栄養研究所）

第24回：10月16日（於：国立健康・栄養研究所）

第25回：3月22日（於：国立健康・栄養研究所）

4) 評議員会

第5回：11月17日（於：東京農業大学）

5) 総会

第5回：11月17日（於：東京農業大学）

2. 学術関係報告

1) 第5回公開講演会

日 時：平成12年12月3日（日）

場 所：銀座ヤマハホール（東京）

演題，演者：「腸の健康と食物繊維」

～必見！いきいきライフはおなかの元気から～

1. 「食物繊維の性状とはたらき」

（大妻女子大学教授・池上幸江先生）

2. 「生活習慣病と大腸疾患」

（松島クリニック内科部長・松生恒夫先生）

3. 「腸内環境と健康」

（東京大学名誉教授・光岡知足先生）

2) 第5回学術集会

日 時：平成12年11月17日(金), 18日(土)

場 所：東京農業大学

申込演題数：12題

シンポジウムⅠ 「腸管免疫と食物繊維及び関連物質」

1. 腸管免疫(上皮内T細胞を中心として)

石川博通(慶応大・医学部)

2. 腸管免疫応答の誘導機能と食品成分

八村敏志(東大院・農生科)

3. 難消化性糖質と腸管中IgA分泌応答

工藤慶太(市立名寄短大・生活科)

4. 食物繊維の抗体産生調節機能

山田耕路(九大・農学研究院)

5. 腸管免疫とオリゴ糖-ビフィズス菌を中心として

保井久子(ヤクルト(株)中央研究所)

シンポジウムⅡ 「食物繊維および関連素材の新機能開発と利用」

1. 大麦麦芽DFの機能と利用

金井理(キリンビール(株)酵母事業開発部)

2. キチン・キトサン関連物質の機能と利用

川口光明(焼津水産化学工業(株))

3. 食物繊維素材利用プロバイオティクスの効果

木村修武(日清製粉(株)ファインケミカル研究所)

4. 海藻多糖類：アガロースおよびフコイダンの機能と利用

加藤郁之進(宝酒造(株)バイオ研究所)

5. カードランの機能と利用

清水純(東京農業大学・応用生物科学部)

ワーキンググループ 「活動報告と討論」

3) ニュースレターの発行

第9号：平成12年 3月31日発行 発行部数300部

第10号：平成12年10月20日発行 発行部数300部

4) 研究会誌の発行

第4巻1号：平成12年 7月28日発行 発行部数500部

第4巻2号：平成12年12月28日発行 発行部数500部

3. 経理関係報告

平成11年度収支決算（平成11年4月1日～平成12年3月31日）

1) 一般会計収支決算（単位：円）

収入の部				支出の部			
科目	決算額	予算額	増△減	科目	決算額	予算額	増△減
会費収入	2,471,500	2,415,000	56,500	運営費	909,203	1,550,000	△ 640,797
正会員	(602,000)	(600,000)	(2,000)	印刷費	(92,850)	(500,000)	(△ 407,150)
学生会員	(4,500)	(15,000)	(△ 10,500)	通信費	(322,900)	(300,000)	(22,900)
団体会員	(40,000)	(50,000)	(△ 10,000)	消耗品費	(54,233)	(100,000)	(△ 45,767)
賛助会員	(1,825,000)	(1,750,000)	(75,000)	人件費	(190,000)	(150,000)	(40,000)
事業収入	876,290	745,000	131,290	会議費	(109,430)	(150,000)	(△ 40,570)
会誌等頒布収入	(13,950)	(45,000)	(△ 31,050)	交通費	(119,980)	(300,000)	(△ 180,020)
投稿料	(0)	(200,000)	(△ 200,000)	雑費	(19,810)	(50,000)	(△ 30,190)
広告掲載収入	(780,000)	(500,000)	(280,000)	事業費	2,360,767	2,800,000	△ 439,233
別刷り料	(82,340)	(0)	(82,340)	学術集会補助	(400,000)	(400,000)	(0)
剰余金繰入	3,795,718	3,795,718	0	公開講演会補助	(0)	(200,000)	(△ 200,000)
利息配当金	6,619	10,000	△ 3,381	研究活動費	(283,060)	(400,000)	(△ 116,940)
普通預金	(1,223)	(0)	(1,223)	会誌発行費	(1,677,707)	(1,800,000)	(△ 122,293)
特別会計	(5,396)	(10,000)	(△ 4,604)	予備費	0	2,503,718	△ 2,503,718
その他の収入 (雑収入)	0	0	0	当期剰余金	3,880,157	0	3,880,157
合 計	7,150,127	6,853,718	296,409	合 計	7,150,127	6,853,718	296,409

2) 特別会計収支仮決算（単位：円）

収入の部				支出の部			
科目	決算額	予算額	増△減	科目	決算額	予算額	増△減
一般会計繰入金	4,500,000	4,500,000	0	一般会計繰出金	5,396	10,000	△ 4,604
利息配当金収入	5,396	10,000	△ 4,604	研究会基金繰越	4,500,000	4,500,000	0
合 計	4,505,396	4,510,000	△ 4,604	合 計	4,505,396	4,510,000	△ 4,604

平成13年度事業計画

1. 学術関係

1) 第6回学術集会の開催

集会長：海老原 清（愛媛大学教授）

2) 第6回公開講演会の開催

場所：未定

3) ニュースレターの発行

第11号：平成13年 4月27日発行予定 発行予定部数300部

第12号：平成13年10月15日発行予定 発行予定部数300部

4) 研究会誌の発行

第5巻1号：平成13年 7月15日発行予定 発行予定部数500部

第5巻2号：平成13年12月15日発行予定 発行予定部数500部

5) その他

定量法およびリサーチ・プロジェクトの各部会の活動を継続。

2. 経理関係（平成13年4月1日～平成14年3月31日）

1) 一般会計収支予算（単位：円）

収入の部		支出の部	
科 目	予算額	科 目	予算額
会費収入	2,687,500	運営費	1,650,000
正会員 3,000 × 210	630,000	印刷費	500,000
学生会員 1,500 × 5	7,500	通信費	350,000
団体会員 10,000 × 5	50,000	消耗品費	100,000
賛助会員 50,000 × 40	2,000,000	人件費	200,000
事業収入	1,110,000	会議費	150,000
会誌等頒布収入	110,000	交通費	300,000
広告掲載収入	850,000	雑 費	50,000
別刷り代	150,000	事業費	2,800,000
余剰金繰入*	3,800,000**	学術集会補助	400,000
利息配当金	10,000	公開講演会補助	200,000
その他の収入（雑収入）	0	研究活動費	400,000
		会誌発行費	1,800,000
		予備費	3,157,500**
合計	7,607,500**	合計	7,607,500**

*平成12年度余剰金からの繰入金 **修正箇所（平成13年度総会で要修正承認）

2) 特別会計収支予算（単位：円）

収入の部		支出の部	
科 目	予算額	科 目	予算額
研究会基金よりの繰入	4,500,000	一般会計への繰入金	10,000
利息配当金収入	10,000	研究会基金繰越	4,500,000
合計	4,510,000	合計	4,510,000

公開講演会「腸の健康と食物繊維」実施報告

平成12年12月3日（日）、恒例の本研究会主催公開講演会が上記のようなテーマで銀座ヤマハホールにおいて開催されました。池田義雄新会長の開会の挨拶の後、事業報告にも記載しました3題の講演が行われた後、池田義雄会長、奥恒行常任幹事の先生方の座長により3人の演者の先生方とディスカッション形式の質疑応答が行われました。最後に田所忠弘学術集会長の閉会の辞によって幕を閉じました。

今回の講演会は大塚製薬（株）ならびにダニスコカルタージャパン（株）の協賛を得て開催されました。応募総数が1070名もあり、抽選で招待状を受け取った方のうち343名が出席という大盛況の講演会となりました。

質疑応答も活発に行われ、出席者の健康への関心と食物繊維に対する期待を感じさせられた会でした。日本食物繊維研究会の重要な事業の一つに研究成果の一般市民への普及・啓発があります。本講演会が成功裏に終了したことを考えると今後も定着・充実させていくべき活動であると考えます。

（青江誠一郎 記）

編集委員会より

1) 日本食物繊維研究会の会員名簿を現在改訂中です。おかげさまで会員数が徐々に増加しております。「ルミナコイド」という新しい包括的用語も提案され、関連する先生方の新たな参加を期待しております。会員の先生方におかれましては、入会の呼びかけを是非ともお願いいたします。

2) 平成13年度会費納入のお願い

当研究会は学術集会、公開講演会の開催、研究会誌、ニュースレターの発行など研究会の運営は会費に依存しております。平成13年度の会費は、平成13年5月31日までに同封の振込用紙でご納入下さいますようお願いいたします。

平成12年度会費

正会員	3,000円	学生会員	1,500円
団体会員	10,000円	賛助会員	50,000円 (一口)

会員状況：平成13年3月31日現在

正会員	207名	学生会員	8名	賛助会員	39社
団体会員	4団体	名誉会員	9名		

【賛助会員】

参松工業株式会社	太陽化学株式会社	株式会社荻野商店
全国精麦工業協同組合連合会	大日本製薬株式会社	日本食品化工株式会社
佐合食品工業株式会社	ダニスコカルタージャパン株式会社	大塚製薬株式会社
大塚製薬株式会社佐賀研究所	雪印乳業株式会社	伊那食品工業株式会社
財団法人日本こんにゃく協会	株式会社はくばく	日本ケロッグ株式会社
株式会社林原生物化学研究所	社団法人菓子総合技術センター	松谷化学工業株式会社
サントリー株式会社	オリヒロ株式会社	株式会社カイゲン
富士バイオ株式会社	日清製粉株式会社	日本甜菜製糖株式会社
武田薬品工業株式会社	日本バイオコン株式会社	旭化成工業株式会社
株式会社横浜国際バイオ研究所	第一出版株式会社	清水化学株式会社
日清食品株式会社	三和澱粉工業株式会社	雪印食品株式会社
昭和産業株式会社	株式会社日健総本社	朝日食品工業株式会社
フィプロ製薬株式会社	ア-ラフ-ス イングレデ ィエンツ ジャパン株式会社	明治製菓株式会社

(順不同)

日本食物繊維研究会 JDF News Letter No.11

発行日 : 2001年4月27日
 発行人 : 日本食物繊維研究会会長 池田義雄
 編集人 : 奥 恒行, 青江誠一郎
 事務局 : 日本食物繊維研究会事務局
 〒162-8636 東京都新宿区戸山1-23-1
 国立健康・栄養研究所 応用食品部内
 TEL: 03-3203-5602, FAX: 03-3205-6549
 印刷所 : 株式会社 交友社
 〒136-0072 東京都江東区大島8-38-5

